

第1回加西市立学校給食センター運営方式検討委員会

日 時	令和7年6月24日 18:00～
場 所	加西市総合教育センター 会議室3
出席者	学識経験者：森井委員（兵教大）、遠藤委員（栄養教諭） 保護者代表：内藤委員（中学校PTA）、大塚委員（小学校PTA） 学校関係者：岩崎委員（泉中）、菅野委員（日吉小）、大道委員（泉小）
事務局	教育長、伊藤部長、松本課長、繁田、鈴木北部学校給食センター所長、坂江南部学校給食センター所長
内容： 3. 委員長、副委員長の互選 委員長・・・森井委員、副委員長・・・内藤委員 4. 検討委員会への諮問書提出 教育長より、学校給食センターの将来にわたる安全で安心な給食の提供、効率的な運営を進めるための検討について諮問を受ける。 5. 給食センターの概要と給食センターの調理の民間委託について報告・説明 事務局より説明 ○調理が民間委託になることについて、「教育委員会と学校との連携が難しくなる」とはどういう意味か。 →現行は直接やり取りしている。しかし、業務委託委託している西脇では、調理が民間委託になっても問題がないと確認している。 ○委託になって3,300食を2センター方式でしているが、民間委託になった場合調理員の確保はできるか。 →業務委託で運営している西脇市では、3,000余食を調理員30名で調理している。 現状働いている人で、委託になっても引き続き働きたいという方は、そのまま民間会社でも働いていただけたらと思う。 ○民間業者で、加西市の業務を担ってくれそうな業者はあるのか。 →数社問い合わせをいただいている。 ○調理業務が民間になると何が良くなるのか。 →現行では新しく入った調理員に対する教育及び調理員の確保、募集、採用、事務、等を行っている。委託になると、新しく入った調理員に対する教育や指導は、ベテランの職員が担うことができ、指導体制がきちんと成立している。	

○どうして正規職員が1人なのか。

→約20年ほど前から、将来の民営化を見据えて、調理員などの正規職員を補充していないため、定年になると退職となり補充はしていない。

○調理員の募集は資格がある人のみか。

→資格がなくても採用はしている。その後資格取得を推奨している。

○調理師の資格を持った調理員は現在どの程度いるか。

→約9割が有資格者

○安心・安全な給食のために委託業者に対して、調理員に資格保有者の確保が必要と考える。

→委託先にもお願いしたい。

○調理員から意見聴取したのか。

→今年の2月から民間委託について話をしている。

○民間委託後に残る人に対するケアが必要ではないか。

→必要と考えている。

○現行では、調理員が長期休暇や退職などになった場合、急遽の補充は難しいが、民間だと社内の人員を回せるし、雇用形態（調理要員・戦場要員など）で時間ごとの雇用形態での運用もできるので、強みがある。

→公務員としては、流動的な働き方は難しいので、民間はシフトなどを工夫して効率的に運用できる。

○こども園は今後委託になるのか。

→調理業務の委託もできるが、将来的には園自体を民間委託していく方向。

○民間委託をしても支出は減らないと思う。

○学校としては、今と同じように、サービスの低下がなく、安心、安全な給食の提供を受けられるのであれば、民間でも全く問題はないと考える。デメリットがないならどちらでもよい。

○今後給食費の無償化は続けられるのか。

→今ふるさと納税を給食費の無償化に充てている。施策が変わらない限り続く。

6 次回の会議は令和7年8月27日（水）18：00～